

第655回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 国道113号線^{りんごう}梨郷道路工事 長井市大字今泉～南陽市大字竹原

- ・梨郷道路は、地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路（延長約80km）」の一部を構成する自動車専用道路（直轄施工）。
- ・山形県長井市今泉を起点とし同県南陽市竹原に至る延長7.2kmについて、国道113号の適正な交通分担及び物流機能強化、高次医療施設へのアクセス性向上等を目的として整備。
- ・さらに、長井市内の渋滞緩和や交通事故削減を図るとともに、東北中央自動車道と一体となって、地域間交流の促進や置賜地方の活性化等の効果が期待。
- ・平成20年度に事業着手し、令和元年度は、調査設計、用地補償、改良工事、橋梁工事を推進。



2. 道の駅米沢 米沢市川井大字川井

- ・東北中央自動車道の福島JCTから米沢北IC間は国土交通省の新直轄方式で整備された無料区間。
- ・県では、この間の整備に合わせ、地域活性化(追加)IC(米沢中央IC)を整備。
- ・無料区間にはSA、PAは設置されないため、その代替施設として、休憩機能、道路情報発信機能・地域連携機能を備えた「道の駅米沢」を米沢中央IC近傍に設置。
- ・「地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型道の駅」として国土交通省の重点道の駅の指定を受け、観光案内施設の充実等が図られ、平成30年4月20日に開業。開業1年間で約170万人の来場者数を記録。



3. 山形県総合文化芸術館新築工事 山形市双葉町

- ・JR山形駅西口に直結し「『心豊かで幸せな山形生活』の発信」を基本方針とした拠点施設の整備事業（2019年度オープン予定）。
- ・施設の柱となる2,001席の客席を有するホールは、山形の文化を育む「文化・芸術の拠点」となる施設として計画。
- ・創造育成部門として大小6室の練習室、山形発信機能として県産品ショップやレストラン、イベント広場などを併設。
- ・省エネルギーへの対応・再生可能エネルギーの活用として、地域熱供給事業による熱源活用の他、舞台上部外壁に太陽光発電パネルを設置。
- ・災害時の防災拠点施設として、防災備蓄倉庫の他、イベント広場兼用の防災広場も併設。
- ・館内各所に県産品・県産技術を積極的に活用し、施設全体で山形県の「強み・特色・魅力」を発信。

